

# 情報Aのプリント教材開発

横浜市立横浜総合高等学校  
土屋昌之

# 情報Aの授業概要

- 1年次の必修修
- 2校時続きの授業
- コンピューター室での授業

# プリント学習のメリット

- 座学的な授業の展開
- 学習内容の統一性が保てる
- 定期試験等への対応
- 時間配分がわかりやすい
- 実習とのバランスがとりやすい
- 学習の定着テクニックが使いやすい

# プリント学習のデメリット

- プrintの作成コスト
- スライドの作成コスト
- 座学中心に偏る可能性
- プrintの管理の問題

# プリントの管理と学習管理

- クリアーファイルの活用
  - 校名入りのクリアーファイル利用
- 学習記録表の活用
  - 資料参考

# 学習記録表

- 片面で前期／後期
- 日付とその日の出席が記入できる
- その日の内容を書ける
- 自己評価欄付
- 課題等の提出欄付
- 試験の点数も記入可

情報A 記録表(前期)

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

回数	日付	出欠	内 容	自己評価
1	/			A B C D
2	/			A B C D
3	/			A B C D
4	/			A B C D
5	/			A B C D
6	/			A B C D
7	/			A B C D
8	/			A B C D
9	/			A B C D
10	/			A B C D
11	/			A B C D
12	/			A B C D
13	/			A B C D
前期期末テスト	/			A B C D

プリント提出					課題
1	2	3	4	5	

# 学習用プリントの作成

- 資料は「知的財産権」に関するプリント
- 使用教科書のページを記入しておくとの後の学習にも役立ちます。

情報 A プリント 4 (P46~P50) 頁 1

登録番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

・ 知的財産権とは \_\_\_\_\_

・ 知的財産権を国際的に保証する協約 \_\_\_\_\_

・ 著作権

著作 権 の 特 徴	作品を公表するが、しないかを決める権利
	著作権者などのように(ペンネーム など)表示するが決められる権利
	勝手に改変されない権利

著作権の種類 \_\_\_\_\_

・ 著作権の発生と保護

手続き方法	_____
保護期間	_____

・ 著作権の種類  
著作権の種類は \_\_\_\_\_

・ 著作物の利用  
利用するには \_\_\_\_\_

例外的に使える場合 \_\_\_\_\_

・ 産業財産権  
産業財産権の4つの権利項目

_____	_____	_____	_____
-------	-------	-------	-------

出題先 \_\_\_\_\_

# 学習用プリントの作成

- 穴埋め、記号での記入は無しにする
- 記入する欄は四角で囲う
- プリントを見ただけでは記入できない程度のプリントを作成する
- なるべく自由記述もできるようにする
- なるべく1ページ(両面可)に抑える。
- なるべく記入欄を大きく取る



# スライドの作成

- 一回の授業で使用するスライドは10枚前後
- 記入項目があるページには目印があると良い
- 記入項目のあるスライドは時間を多めに必要となる
- プリントにある項目 +  $\alpha$ 程度

# 実際の授業でのポイント

- スライドの重要な点などはマウスで線を引く
- マウスを使って追記もする
- プリント記入中は時間が少し空くことを意識する
- 全体の進み具合を把握しながらゆっくりすすめる

# 実際の授業までの流れ

- 1回の授業での設定項目を決める
- 教科書をベースとしたプリントの作成
- プリントをベースとしたスライドの作成
- 授業
- 評価

# 定着させるための手法

- 同じパターンで継続的に行う
- 実習中心となる項目でも、簡単に事前学習的なプリントを記入させる
- できれば、事前に評価基準を決めておく
- スライド、プリントの体裁をなるべく統一する
- 一人でがんばり過ぎない

## さいごに

- それぞれの項目をネットワークを通じて相互に利用できる、より良いコンテンツが作成せれて行く可能性があります。校内で利用するばかりではなく、県内、県外も含めたネットワーク作りと併用されるとより効果を高めます。まずは、授業実践から行ってみてはどうでしょうか？